



Jag vill bjuda Fader
vinter eftersom han
aldrig fått äta en "vårig"
rätt. Och det känns
det som alla behöver
uppleva. Jag skulle bjuda
på grillat eftersom det
känns som en typisk rätt
att äta på sommaren.
/ Alexander Hervieu

Meeting You at the Table
(食卓で会いましょう)
関係性の公共芸術プロジェクト
2010-2011年

場所 スウェーデン・ストックホルム
ブロンメンベリリス小中学校
委託 スウェーデン・ストックホルム市

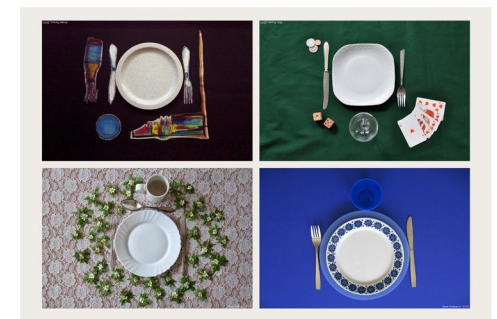
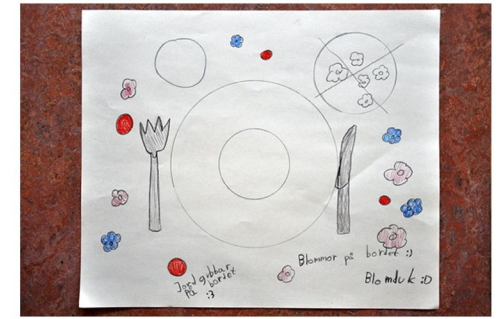


スウェーデン市芸術文化課から指名されて行なった公共芸術プロジェクトであり、ストックホルム市初の関係性の美術(リレーショナル・アート)を扱ったプロジェクトでもある。

公立ブロンメンベリリス小・中学校の生徒7人を対象に、食とその視覚性・社会性についての講義およびワークショップを行ない、食の大切さを確認するとともに、公立学校の食堂という無機質な空間を、食を楽しみ、食を通して交流する空間に変貌させることを目標とした。

具体的には、7人の生徒それぞれに夕食に呼びたい招待客(家族や友人、アイドル、架空の人物も可)を選び、その人物の性格や嗜好、季節などを考慮して、どのような食事を出して、どのようなしつらえでもてなしたいかを想像するよう提案。その構想およびスケッチからそれぞれ実際のテーブルセッティングをしてもらい、その食卓風景を俯瞰撮影。私を含む8人それぞれのしつらえの画像を4人掛け用食卓の天板に印刷及び加工し、食堂に置かれていた灰色の食卓と交換した。

これらのテーブルのお披露目にあたっては、7人の生徒の他、その父兄、美術教師、学校長、食堂付き調理師らプロジェクトを支えてくれた人々を招待し、飲み物と食べ物を用意、その作品の完成を祝うとともにその食卓にて交流の機会を持った。プロジェクト自体は、生徒のスケッチ、しつらえの背後にあるそれぞれの話し、一つ一つのしつらえ、ワークショップやお披露目会の様子の記録などを収めた小さな印刷物を持って結びとした。



(左ページ、上) 小冊子の1頁。自分のしつらえが印刷された食卓につく生徒と、しつらえの背後にあるお話
(右ページ、左一段目) プロジェクト以前の学校の食堂の様子
(右一段目) 生徒によるスケッチ
(左二段目および右二段目) しつらえ準備中の生徒
(左三段目) 学校の食堂に設置されたしつらえが印刷された食卓
(右三段目) 2010年9月30日にブロンメンベリリス小中学校の食堂にて行われたお披露目の様子
(左四段目および右四段目) 四人掛けの食卓の意匠二種。それぞれの食卓に異なる組み合わせのしつらえを印刷